

## 「熊本の心」があふれる私達の合唱部

山鹿市立めのだけ小学校 6年 内島 彩月

私は音楽が大好きです。きれいな音楽を聴くと、とてもいい気持ちになります。3年生の時、合唱部の人達の響き合う歌声に感動し、私は迷うことなく合唱部に入りました。それから4年間、私はずっと合唱を一生懸命に続けています。今年、私は最上級生になり、副部長に選ばれました。だから、私は練習を決して休まないことと自分のことだけではなく、部員全員のことを考えて動こうと決心しました。その中で私は、「助けあい、励ましあい、志高く」という「熊本の心」を意識しながら生活していることに気づかされました。

私達には大きな夢があります。合唱部で全国大会に出場することです。去年までは九州大会までしかなかった合唱コンクールが、今年は全国大会につながるようになったのです。私はこのニュースを聞き、とてもうれしくなり、さらにやる気が出てきました。しかし、合唱部を指導して下さっている先生は、「演奏を聴きに來ている人が、今日死のうと思っていたとしたら、もう1日生きてみようと思う演奏をしよう。」とおっしゃいました。私達の歌声が、人に何らかの力を贈ることができるなんて考えたことがなかったので、そんな演奏をしたいと心から思うようになりました。合唱コンクールに向けて技術を高めるだけではなく、私達の合唱を聴いてくださる方の心に響く素敵な演奏をすること、それが私達の大切な志になりました。

合唱部の日々の練習は、部員みんなが協力しながら真剣に取り組んでいます。例えば、誰かがパートを変ったときは、進んで音をとったり、歌うときにおなかが使えるように教え合ったりするのは当たり前のこととして行っています。何か困ったことがあったときは、必ずみんなで話し合って解決しています。困っていることさえ言えない下級生を見かけたら、「どうしたの。」と声をかけるだけで、その人とつながることができるということも、私が練習を通して学んだことです。私も、そうやってずっと先ばい方に助けられてきたから、今度は、私が下級生を助けるそんな先ばいになりたいと思います。

また、注意された人が落ち込んでいるときや大会の直前で下級生が緊張しているときは、みんなで励ましあい、乗り越えています。みんなで「大丈夫。」「がんばろうね。」と声をかけあうことで、落ち着き、本当に大丈夫のような気がするのです。そして、本当にみんなでがんばることができています。励ましあう声と態度は、私達を1つにしてくれます。

私は、「助けあい、励ましあい、志高く」という「熊本の心」で、何度も友達と心を通わせていることに気づきました。だからこれからも、私はこの「熊本の心」を心の宝物にしてずっと大切にしていきたいと思っています。